



## 巻 頭 言

兵庫県立大学産学連携機構  
放射光ナノテクセンター  
センター長 籠島 靖

兵庫県ビームライン（BL08B2、BL24XU）と兵庫県放射光ナノテク研究所の施設管理・運営については、平成10年度の1本目のビームライン（BL24XU）の供用開始当初から公益財団法人ひょうご科学技術協会が兵庫県からの委託を受けて実施してきましたが、平成25年度から兵庫県立大学が放射光ナノテクセンターとして実施することとなりました。正式には、公立大学法人兵庫県立大学産学連携機構放射光ナノテクセンターになりました。これでは些か冗長ですので、「兵庫県立大学放射光ナノテクセンター」とお呼び頂ければと思います。名目上の組織は変わりましたが、産業界ユーザの支援体制の基本部分についてはほぼ従前通りです。この移行のタイミングは兵庫県立大学の法人化と同期しており、兵庫県が取り組む放射光の産業利用体制を再構築・強化することを目的としたものです。全学の産学連携機構という組織を活かすことで、ユーザの皆様が抱える課題解決において、広く大学が保有する知を結集しやすくする狙いがあります。高い効果が上がるように鋭意努力して参る所存です。

既にご存知のこととは思いますが、SPring-8では2011B期より、成果非専有課題に関する利用成果の報告につきまして、利用期終了後3年以内に論文またはJASRIの指定する方法により公開し、JASRIに報告することとなっております。本兵庫県ビームライン成果報告書は昨年2月にVol.1を発行しましたが、幸いJASRIの指定する成果公開方法の一つとして承認されました。ユーザの皆様には、成果公開の媒体として本成果集を多くにご活用頂ければ幸甚です。今後とも関係機関の皆様の更なるご指導・ご支援を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

